ひょうごユースセミナー　1980（昭和 55 年）～1984（昭和 59 年）
参加生徒の感想

僕は、このサマースクールを受講して大変満足しています。
今までは自分でゲームのプログラムなど作れないと思っていたのに、やればできないことはないと強く感じました。それに先生方も大変親切だし:使用したパソコンも初心者には適していると思います。
来年も受講したいのですが卒業です。学校の後輩に勧めたいと思います。
今回は 8 月 7 日～8 月 12 日までの 6 日間でしたが,もう少し長くてもよいのではという気がしました。(56 年度・伊丹市 3 年男子生徒)

僕の夏休みの生活というとただ学校の宿題におわれるだけの、ほんとうに退屈で無意味な時間の連続でした。ところがこの講座を受け始めてからは、かなり充実した内容のある生活に変わりました。
講座の内容もパソコンに初めて触れるような僕にも理解できるようなていねいなものだったのでとても助かりました。
僕自身の普段の生活があまりパソコンに縁のあるものではないので,電気屋の店頭で頑張ってみるとして、とにかくこの 6 日間,講座を受けてよかったなと心から思っています。
(58 年度・神戸市 1 年男子生徒)

コンピュータが自由に扱えたらと思いはするものの数学のからむことはすべて敬遠したいわたしのこととて父親にぜひ行けと勧められるまでは(人はこの態度を強制と呼ぶ),乗り気ではなかった。案内書が届いたときはなお更で,やめりゃよかったとどれ程思ったことか。
つまり,あのスケジュール。朝から昼 1 時間の休憩のほかは夕方 3 時過ぎまでぶっとおし。
冗談じゃない。たった 50 分の学校の授業ですらがまんできないあたしがどうやって耐えるのだ。
かくて気のすすまぬままに遠路はるばる 8 月 7 日の朝,明石。
開講式だって。講師先生だって。セミナーだって。どんな恐いとこなんだろう…と、思っていたら。
講義なんていつやったんですかそんなもの。簡単な注意と操作法は聞いた。わからない事,困った事があったときも教えてもらった。それだけで,あとはひねもすパタパタ叩いていただけです,キーボードを。
プログラムの作ってあるのを叩きこんで,RUN させて遊んで喜んで。ところが,わかるのね。プログラムが。記号の羅列じゃなくて理解可能な暗号として。
もっと不思議なことにプログラムが組めるの。前にマイコンショップのデモンストレーションで同い年位の男の子がやってた事をただただ尊敬のまなざしでみつめてた私が。いつのまにこんなに。朝,来る。10 分も叩いたかと思うと,もう昼。食事が済む。時間の観念が消失しきって 2 秒と 2 時間の区別がつかなくなった頃、そろそろ帰れと叫ばれる。気がついたら、ゲームのプログラムを独創で組めていたりする。再び,いつのまにこんなに。感嘆!!
(58 年度・市立葺合高校 2 年女子生徒)

「どうや,やってみるか。先生のその一言と「パソコンで君も天才」のキャッチフレーズにのせられて参加したサマースクールだったが,「もう少し考えた方がよかったかな。という迷いがないわけではなかった。一週間やそこらで“天才”になる自信は毛頭なかったし、口ではおそれおおくもパソコン,パソコンと呼んではいるが、パーソナルコンピュータとはいかなるものか。言葉としても,イメージとしても,皆目見当のつかない私であったのだから。
それにしても、さすがはやる気のある者だけが集まるサマースクール、日頃の学校生活ですらみる事のできない真剣な前向きの姿勢に元来のんびり屋の私も初めて「やらなければおいていかれる」という焦りを感じた。しかし,その思いが暗中模索の 6 日間の唯一の力だったように思う。そんな私だから実に情けない限りだが,用語や用法を曲がりなりにも理解できたのは,最後の 2 日になってからだった。いつの日かコンピュータに接する機会が訪れた時,気持ちに余裕を持ってスタートラインに立てるだろうし、かりに、二度と接することがないとしても,この6日間が私にとって決してマイナスではなかったと自信を持って言いきれる。
(58 年度・神戸市 1 年女子生徒)

夏休みに入る前に学校の先生方に「一度,サマースクールでパソコンを使って見たらどうだ」と勧めていただきました。
就職希望なので将来役立つかも知れないと思い参加したのです。パソコンなんて今まで興味がなく触れたこともありませんでした。
ですから最初の日は、キーを指で押すのが楽しくてたまりませんでした。
楽しいことをたくさん経験した中で、自分の考えと違っていたことは、MUSIC の時,プログラムに音符を入れるのに,ドレミファではなく,C3D.....というように直さなければならないことでした。音楽が苦手なので混乱しましたが、音が出るのが楽しく 4 曲も作ってしまいました。
今年の夏休みの中で一番充実していた期間だったと思います。将来の就職にもきっと役立つだろうと思います。
(59 年度・明石市 3 年女子生徒)

はじめての日,あまりの難しさびっくりしました。どこにどのキーがあるのか全然わからないし,指もスムーズに動かない。
なによりも,いろいろな命令をおぼえるのが,ややこしかったが、音楽や,色をつけるのは,おもしろかった。
まだ他の人のように難しいことや応用はできないが,今では、かなり慣れたと思う。ここまでくると、やっぱりパソコンが欲しい。このサマースクールに参加してほんとによかったと思う。
(59 年度・神戸市 2 年生徒)

パソコンに興味があり,この講習を友達とさそいあわせ受けました。
一応、授業でパソコンを習っているんですけど,ついていくのに精一杯で,楽しむことは,あまりできませんでした。
しかし,ここでは、楽しみながらできました。
学校とは違った雰囲気で学べたからかもしれません。この 6 日間,楽しく充実した日々だと私は思います。(59 年度・神戸市 3 年女子生徒)

生まれてこのかた 15 年……。自分のことを、まんざらバカではあるまいと思っていた自信が,わずか 1 週間でもろくも崩れ去ってしまった。
このシリコン生命体(コンピュータのこと)に本当に,完璧,「あそばれて」しまったような気がする。
このシリコン生命体は、おどろくほど論理的で、こっちが相手に制御されている感じでとてもとてもこちらのイマージュを理解してもらうには、まだまだ,時間をかけないと駄目みたいです。
計算機からの進化の様子の途中で今回は挫折しましたが、機会あれば,今度は一緒に進化していければいいと思っています。
しかし「初めて」と言いながら皆さんの理解度の高いこと!
ほとんど落ち込んでしまうばかりです。自分がいかに文系人間であるかわかっただけでも、良しと思わねばならないんでしょうか。
(59 年度・姫路市 1 年女子生徒)

毎日欠かさず出席したおかげで、中学校の科学部でパソコンをやっている弟にどんと近づきました。
今までは,「そんな事も知らないのかっ!」と、バカにされがちでした。隣にすわっている子,前にすわっている子,後に……と友達もできました。
駅の切符切りのおじさんとも顔見知りになりましたし。いろいろ収穫のあった 6 日間でした。
来年は、いそがしくて受講できないと思います。もう 1 年早く受講すべきでした。残念。
(59 年度・明石市 2 年女子生徒)

前々からコンピュータに興味があったけど,ふれる機会がなく、今回のこのユースセミナーに参加できて本当によかったと思います。
「パソコンにチャレンジ」で思う存分といっても 6 日間だったけれどもパソコンを使うことができました。最後に,相当苦労したけれども、なかなか面白いプログラムもつくれてました。
残念なことは、6 日間しかなかったことと、僕自身が、パソコンを持っていないことです。
来年も参加したいと思っています。
(59 年度・明石市 1 年男子生徒)